



北方領土返還要求運動
シンボルマーク

北方領土返還要求運動 奈良県民会議 第30回 奈良県民大会



択捉島 日本人墓地



国後島 霧白山

択捉島

色丹島 穴澗湾の夕焼け

色丹島



歯舞群島



歯舞群島

2012年 知床半島より国後島を撮影

とき 平成27年8月25日(火) 13:00~15:10

ところ ホテル日航奈良 4階 飛天

主催 北方領土返還要求運動奈良県民会議

共催 (独) 北方領土問題対策協会

後援 外務省 内閣府北方対策本部

お問い合わせ

北方領土返還要求運動 奈良県民会議事務局(奈良県広報広聴課内)

☎0742-27-8325 <http://www.hoppou-nara.org/>



次第

開会

主催者挨拶

北方領土返還要求運動
奈良県民会議 会長

新谷 紘一

来賓挨拶

奈良県副知事

奥田 喜則様

奈良県議会議長

中村 昭様

大会決議

北方領土返還要求運動
奈良県民会議 副会長

西本 安博

講演

株式会社 独立総合研究所
代表取締役社長・兼・首席研究員

青山 繁晴氏

閉会

内閣府メッセージ

北方領土返還要求運動奈良県民大会の開催に当たり、御挨拶を申し上げます。

まず始めに、本大会に御出席の皆様方におかれましては、我が国固有の領土である北方領土返還実現のため、日頃より返還要求運動の推進に多大な御尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

私は、昨年10月に根室・納沙布岬を訪問し、御多忙中にもかかわらず多くの方々に迎えていただきました。近くで遠い四島の返還を願う元島民の方々の強い望郷の思いを改めて胸に刻み、全国民の問題として、北方領土問題の解決に向けた決意を新たにいたしました。

安倍内閣発足から、既に10回の日露首脳会談を開催し、昨年11月の北京APECの際の首脳会談においては、今年の適切な時期にプーチン大統領の訪日を実現するための準備を開始することで一致したところですが、私としては、北方四島の帰属の問題を解決して日露平和条約を締結するという我が国の一貫した基本方針の下、この問題が一日も早く解決されるよう外交交渉を後押しする国民世論の啓発に全力で取り組んでまいる所存です。

今年は戦後70年という節目の年であることを踏まえ、根室市をはじめとする北方領土隣接地域に、元島民はもとより、全国各地から青少年や返還要求運動関係者を集め、ゼミナール等を実施する「戦後70年 北方領土問題を考える集い」を実施することとしております。

また、返還要求運動の更なる発展のためには、次代を担う若い世代に対し、北方領土問題の正しい理解と关心を高めることが重要であることから、若い世代に対する広報・啓発活動や北方領土教育の充実を図るとともに、関係団体の皆様との連携を一層密にしながら、裾野の広い全国民的な返還要求運動の推進に向けて、力を尽くしてまいります。

本大会御出席の皆様方におかれましては、今後とも、北方領土の早期返還実現のため、返還要求運動に御尽力を賜りますよう心からお願ひ申し上げますとともに、返還要求運動が更に大きく発展することを祈念いたしまして、御挨拶といたします。

平成27年 8月25日

内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）
北方対策本部長 山口俊一

講演 われら日本人、これからどう生きる



あおやま しげはる
青山繁晴氏

株式会社 独立総合研究所（独研）代表取締役社長・兼・首席研究員

▽文科省参与（日本原子力研究開発機構改革本部委員）

▽経産省・総合資源エネルギー調査会（核セキュリティ・ワーキンググループ）専門委員

▽海上保安庁・政策アドバイザー

▽防衛省・幹部研修講師

▽総務省・消防大学校講師

▽総務省・消防審議会委員

▽総務省・NHK 検討会委員

▼近畿大学・経済学部客員教授（国際関係論）

電子メール【社用】dokken@dokken.co.jp 【私用】shiaoyama@dokken.co.jp

ホームページ【独研】<http://www.dokken.co.jp/> 【個人】<http://shiaoyama.com>

領土問題はなぜ国民的課題になり切れないのか

【領土問題は「国民生活と直接は関係しない」という常識は正しいか】

- A. 領土問題と、たった今、直結しているエネルギー問題とは何か。
- (1) 東シナ海のガス田をめぐる日中合意をめぐる真実は何か。
 - (2) 東シナ海の尖閣諸島周辺に中国が固執する理由は、ガス田と油田だけか。
 - (3) ロシアが北方領土に固執する理由は「領土」だけか。※
 - (4) 韓国が竹島を侵略・占領し続ける理由は「国内世論」やメンツだけか。
 - (5) 日本が抱擁している自前資源と、領土問題はどうつながっているか。
- B. 竹島の領有権を、日本の視点だけではなく国際社会の視点で見るとどうなるか。
- (1) 竹島の問題を、国際司法裁判所ないし国際海洋法裁判所でフェアに裁くことができないのはなぜか。
 - (2) 対馬の「領有問題」なるものが出てきたのはなぜか。
- C. 北方領土問題とは、ほんとうは何か。
- (1) 国際社会は、ほんとうはどう見ているのか。
 - (2) 日本政府は、ほんとうは北方領土問題をどう扱ってきたのか。
 - (3) ロシアの、ほんとうの望みは何か。
 - (4) 解決への切り札はあるか。

「本当の日本」になるには何をするか

6年前

A. 資源小国から資源大国への道はあるか。

- (1) 2020年東京オリンピックの電源を、日本建国以来初めての自前資源メタンハイドレートで灯すことは可能か。
- ※ (2) 日本海を中心に存在する「表層型メタンハイドレート」をアメリカ、中国、韓国、ロシアは、どう見ているか。
- (3) 独研（独立総合研究所）が京都府、新潟県、兵庫県に呼びかけて、日本海に面した10府県で結成された「日本海連合」は今、どう歩んでいるか。
- (4) 日本女性で初めて大型船・船長の資格を取った女性は今、何をしているか。
どんな道を歩んできたか。どんな障害を越えてきたか。どんな子育てをしたか。

B. 東日本大震災、福島原子力災害から4年、復興をどうする進めるべきか。

- (1) 原子力発電所をどうするか。
- (2) 風力、太陽光、太陽熱をはじめ自然エネルギーを主電源にするのは正しいか。
- (3) 東北の復興はなぜ遅れがちか。

日本経済をどうする

- (1) アベノミクスに今、足りないものは何か。
- (2) 日本経済に新たな成長はあるか。あるとすれば、そのシーズ（種）は何か。
- (3) 消費増税の眞の問題はどこにあるか。
- (4) 日本国に日はまた昇るか。

アジアを率いる責任があるのは誰か

- (1) 中華人民共和国の次の10年はどうなるか。
- (2) 日露は実際はどんな交渉をしているか。
- (3) 拉致問題を含め、日朝は本当はどう交渉しているか。
- (4) アメリカは、安倍総理の上下両院合同会議での演説を本音でどう受け止めたか。
- (5) 南シナ海で何が起きているか。
- (6) 東シナ海の平和をどう創るか。
- (7) 自称イスラーム国によるテロは日本、アジア、世界を変えるか。

わたしたちの根っこを定めるために何をするか

- (1) わたしたちが60年以上、忘れていた領土に何を知るか。
- (2) 沖縄の女子学生たちの「白梅の塔」で今、何が起きているか。
- (3) 真の教育をどう創るか。



青山繁晴プロフィール 作成と文責 独立総合研究所・総務部秘書室

昭和27年 7月神戸市に生まれる。
49年 2月慶應義塾大学文学部中退。
54年 3月早稲田大学政治経済学部卒業。
4月社団法人・共同通信社入社。
58年 6月共同通信京都支局・京都府警キャップ。
59年 4月共同通信大阪支社経済部に配属。証券、織維、財界、金融などを担当。
62年 4月共同通信東京本社政治部に配属。官邸、自民党、防衛庁などを担当。
平成 6年10月防衛庁から幹部研修の講師を委嘱される。
7年12月共同通信・外務省サブキャップ。

8年12月共同通信ペルー特派員。

9年12月共同通信を依頼退社

10年 1月株式会社・三菱総合研究所入社。専門研究員（国家戦略立案）となる。

12年 4月小説第1作「夜想交叉路」で第90回文學界新人賞候補。

5月兵庫県加西市の「市総合計画特別審議員」を委嘱される。

6月関西テレビ放送（FNN系列）の選舉解説者を委嘱される。

14年 4月独立総合研究所を創立、代表取締役社長・兼・首席研究員に就任。

5月経産相の諮問機関「総合資源エネルギー調査会」専門委員に就任。

15年 1月消防庁の「首都広域防災拠点」検討委員を委嘱される。

16年 4月衆議院特別委員会で「有事法制」について参考人として意見陳述。

18年 1月『中東戦略会議』（カタール）に元外相らと共に公式招待され参加。

4月『テロ対策国際戦略会議』（米国）に日本初の招待者として参加。

12月総理任命により原子力委・原子力防護専門委員（24年10月まで）。

19年 1月海上保安庁長官任命により海上保安庁・政策アドバイザーに就任。

4月近畿大学経済学部客員教授（国際関係論）に就任。

11月原子力委「原子力新大綱策定会議」委員に就任（23年9月まで）。

23年 5月参議院予算委員会で福島原子力災害について参考人として証言。

25年 2月内閣の日本版NSC（国家安全保障会議）創立有識者会議議員就任。

6月文科省参与（日本原子力研究開発機構改革本部・委員）就任。

6月総務省の消防大学校講師に就任。

9月ニッポン放送のラジオ報道番組「ザ・ボイス」で民放連賞受賞。

11月衆院国家安全保障特別委で秘密保護法をめぐり参考人として証言。

26年 2月総務省消防庁・消防審議会委員に就任。

8月総務省・NHK海外情報発信強化に関する検討会委員に就任

▼発信

★【会員制レポート】東京コンフィデンシャル・レポート（TCR）

特徴：青山繁晴が独自に取材した一次情報のみに基づくレポート。月に4～5回、配信。

会員種別：法人会員／特別個人会員／準個人会員

会員特典：「懇話会」に参加、青山繁晴に直接、質問できます。（個人会員は別途、懇話会の参加実費が必要）※問い合わせ、申込は独立総合研究所総務部 tcr@dokken.co.jpへ。

★【自主開催の講演会】独立講演会

特徴：時間無制限（今は原則4時間半）、あらゆる質問にその場で回答。毎月1回開催。

※問い合わせ、申込は独立総合研究所 HP 該当ページ <http://www.dokken.co.jp/lecture/>

▼近著★8月7日発刊「新書版・ぼくらの祖国」（扶桑社新書）★9月発刊予定「逆転ガイドその1 真珠湾の巻」（ワニプラス）★ロングセラー「ぼくらの祖国」（扶桑社）★近刊「ぼくらの真実」（扶桑社）、「死ぬ理由、生きる理由英霊の渴く島に問う」（ワニプラス）、「希望の現場メタンハイドレート」、「海と女とメタンハイドレート」（共にワニプラス）

大 会 決 議 (案)

本日、我々は、歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島からなる北方四島の早期返還をめざすため、第30回目の北方領土返還要求運動奈良県民大会を開催した。

北方四島は、歴史的にも、国際法上からもわが国固有の領土であり、これらの早期返還の実現は、日本国民にとって長年の悲願である。

これまで我々は県民世論に支えられながら、30年以上にわたり北方四島の返還要求運動を展開してきたが、戦後70年を経た今日もなお、ロシアによる不法占拠の状態が続いていることは誠に残念である。

昨年11月の日露首脳会談をうけ、本年中の適切な時期にブーチン大統領の訪日を実現すべく、日露次官級協議が重ねられており、今後、北方領土問題解決への進展が大いに期待される。

北方領土問題は日露間に残された最大の懸案事項という認識のもと、政府はこの問題の解決を次の世代に先送りすることなく、強い意思をもって交渉を続ける必要がある。

我々も、北方領土の一日も早い返還実現のため、長年にわたり啓発活動や世論高揚のための運動を推進してきた。本大会が第30回という節目を迎える今、改めて、北方領土返還への県民の声を一層結集させ、今後もねばり強く運動を推進していくことをここに決議する。

平成27年8月25日

北方領土返還要求運動奈良県民会議